

第4回東郷地域協議会会議録(要約)

日 時 令和4年7月11日(月)PM7:00~9:00

場 所 新城市役所4階会議室

出席者 委員24名 事務局3名

次第

1 会長あいさつ

2 報告

(1) 令和4年度地域自治区予算の進捗状況について

3 議事

(1) 令和5年度地域自治区予算の策定について

4 連絡事項

(1) 地域計画推進体制検討会の開催について

1 会長あいさつ

2 報告

・令和4年度地域自治区予算(地域交通検討事業・多世代交流事業)の進捗状況について

3 議事

協議会の会議録署名

- ・定数30人のところ24人の出席があり会議は成立している。
- ・会議録署名について、会長及び署名委員を2名指名し署名をお願いした。

(1) 令和5年度地域自治区予算の策定について

(事務局説明) ・前回出た意見について市の担当課の取り組みや意向について

○主な意見

委員 緑が丘から三菱の方に下ったところの舗装道路だが、桜の木の根っこが生えていてでこぼこになっていて歩きにくい。なんとかならないのか。

会長 そういうことはまず区長さんから市の土木課の方に申請いただければ、土木課が対応する。簡単にできることならすぐやるけれども、簡単ではないとちょっと時間がかかるかもしれない。要望としては地域協議会から出すことができるが、そういうことを全部取り上げていくと地域協議会としても大変なので、まずは区長さんから土木課に言ってみてほしい。

その後、地域計画の5つの柱ごとにグループにわかれ、令和5年度地域自治区予算事業計画の検討を行った。グループ討議終了後、各柱のリーダーから議論内容の発表があった。以下発表要旨。

柱1 暮らそう

1-7 新規事業

- ・行きたい場所に行くのに足がなくて行けない方が多いということで、交通手段の認知度をもっと上げることが大事。例えば、ちょっと前に選挙があったけれども、足がなくて行けないという方も多かったと思う。その手段として、公共交通手段を使ってできるだけ行けるようにするために、市民に対してバスの利用についてもっと分かりやすく広報してほしい。
- ・また、せっかくバスに乗っても、行き先が病院と買い物だけではこの先暗いので、バスに乗って行った先に楽しいことを作る。そのために出かける機会を作る。そうすると家に引きこもらないで、人の輪をつくれる。そういうようなバスにしていってほしい。
- ・特に高齢の男性の方は、どうしてもイベントやサークルに出席されない傾向があるため、その方々がどうしたら参加してもらえるのかを今後も考えていきたい。
- ・自宅からバス停までが遠いという課題を解決する仕組みとして、グリーンスローモビリティと言って、ゴルフ場のカートみたいなものを導入して、それをレンタルして東郷地域で試してみたらどうかという話が出た。それに伴って、管理面、保険やレンタル料とかの試算が必要。それと、シニアカーとの違いはどうなのか。シニアカーは目的地まで1人で行って帰って来られるが、グリーンスローモビリティを利用して人に乗せていってもらうのと、自分でシニアカーでいくのと、その違いをちょっと検討してみたい。

柱2 守ろう

2-13 交通安全対策事業

- ・横断歩道のトリックアート化について、何とか1ヶ所でも2ヶ所でもいいのでモデル地区としてできるように再度警察に交渉していただきたい。完全なトリックアートじゃなくても、何か変わったことができればいい。場所としては、例えば東郷西小学校西側の河口鐵工あたりの横断歩道がひとつの候補地。
- ・横断歩道手旗設置については、ぜひ東郷地区の横断歩道に全箇所設置できるぐらいのことをしていただきたい。併せて、それに対して各学校の交通安全教室で、子どもたちに警察の方から指導していただければさらに効果が上がるのではないかな。
- ・中学生の自転車に反射材をつけることについても、これも交通事故防止のためになるのではないかな。
- ・子どもの通学路の安全確保について、この時期は歩道や通学路にも生い茂ってきて、子どもたちの通学路が狭くなって危険だと感じているので、そういうところもいち早く優先してやっていただけるようなことを望んでいる。

2-12 足下の安全対策

- ・台風などの災害時に倒木の恐れがある木を災害が発生する前に補助金を出して伐採する事業についてだが、市の方でも対策をいただいていると思うので、その進捗状況や今後の計画を教えてください。その上で補助制度等を検討し、より安全な地域にしたいと考えている。河川の浚渫に関しても、土木課の方でどのくらい工事を予定しているのかを教えてください。災害が起きてからでは遅いので。

柱3 育てよう

3-6 新規事業

・新城市の人口はどんどん減っている一方で、市内の外国人の人口は増えている。しかし、その外国人との交流が非常に少ないということで、個人情報の問題もあって、どこに誰が住んでるとかどういう人が住んでいるというのは分からないことではあるけれども、そういう人たちと交流をすることが大事だと思う。以前、市の担当部署である国際交流協会の担当の方に、委員が話を聞きに行ったところ、ぜひ進めて欲しいという意向だった。ただ、国際交流をしようと言っても、人を集めるほうも来る方も構えてしまうので、まずは東郷学び学校の一角に、異文化交流コーナーみたいのを出すところから始めた方が、子どもを中心に集まりやすいのではないかな。そういうことを国際交流協会にお願いして、チラシを配ってもらえれば。初めてやることだから、最初の入口はそういうところからスタートして、それがうまくいけばまた独自に計画立てれば良いと思う。それでその中で、例えばお国自慢の親御さんなんか含めて、料理を持ち寄ったらどうか。ただ、そうすると衛生管理の問題だとか、こんなコロナ禍の中で食べるのは、やっぱり出来ないのではないかなという話も出た。やるとしたらバーベキューみたいな形で、しっかりと衛生管理して、一緒に交流しながらやろうというのはできるかもしれないという話が出た。しかし、もしかすると、コロナ禍の中で、食べ物を扱うことも駄目ということになったら、文化交流だとか遊びなど、例えば中国の蹴鞠という遊びだとか、また、ブラジルの子が結構多いらしいので、サッカーの交流をしてみたらどうかとか、具体的ではないが、そういうことをやって子どもたちの交流を中心に大人も一緒になって交流するというのはどうだろうか。ただ、今日は委員が少なかったので、次回具体化していきたい。

柱4 学ぼう

4-6 新規事業

- ・前回の話の中ではどうする家康にいろんなことを絡めてできるだけ早く地図を作ることをしたいということだったが、市の方でかなり大々的にどうする家康に関してはプロジェクトを組んでいるようなので、まずはその計画がどの程度のものなのか、どういったことをやるのかということを知りたいということで、観光課と話し合える機会を設けて欲しいということを事務局の方をお願いしたい。
- ・設楽原あたりの動画をつくれたらいいなというところで、ワークキャリアのフリーランスの方々に依頼していけたらという話を進めている。
- ・馬防柵あたりの田んぼでできるお米を、合戦米としてブランド化してはどうか。これについては農業課の方と話がしたいということで、こちらも事務局に調整をお願いをしたい。

柱5 楽しもう

- ・1つ目に、ケッターパークに関して、スタッフ不足が課題だということで、スタッフを募集するための例えばチラシ印刷等の予算を考えることができるのではないかなというようなアイデアが出た。つまり、ケッターパークをサポートしていくような予算を考えることができるのではないだろうか。
- ・2つ目に、チラシとか紙ではなく、電子回覧板というのはどうかという話が出た。例えば、東郷地域の中で電子回覧版というのをモデル的にチャレンジしてみるというのもアイデアとしてありなのではないかな。

- ・3つ目に、最近東郷のホームページとして市から独立ができないかという話が出ている。つまり、東郷地域自治区予算をもらわずに運営して行くことができないか。本来、団体としては地域協議会関連団体は独立していくべきだと思う。そのための一歩として、ホームページを運用している広報PR部がまずできないだろうか。ただ、素人の集団なので、今の段階ではお金を稼いだりとかそういうことはなかなかできない。一度今度の会議で問題点等も取り上げ、今の運営費とか執筆料の予算に何かプラス予算をつけて、ホームページで稼いでいるプロの方の指導をいただくことができればいいのではないかと、という話が出てきている。
- ・4つ目に、先ほどの電子回覧板と絡んでくるけれども、スマホがやっぱり使えるけど便利なのかどうかという話が盛り上がった。例えば、スマホ教室であったりとか、スマホのリース、タブレットとかでちょっとそんなことが話題となった。今後東郷のデジタル化が進んでいくといいのでは。

○主な意見

会 長 高齢者の交流のために、全自動麻雀卓を公民館に置くというアイデアはどうか。

委 員 麻雀は社協の方で健康麻雀という形で月2回やっている。本気になりすぎて喧嘩してしまうぐらい熱中して取り組まれる方も見える。このグループで話した時には、ただ麻雀だと4人限定のつき合いとなってしまう、限られた人でしか交流が持てないというところ、ずっと座りっ放しでやり続けるっていうのはそれはどうなんだろうというような意見もあり、そこまで発展はしなかった。

会 長 メンバー交代をして2時間くらいで時間制限したらどうか。社協だと敷居が高い。公民館はいつでも誰でもできると。特に女性の方は、まず知らないと思うけれども、やれば楽しいし、お年寄り同士の交流にもなると思う。楽しいことでなければ人は集まらない。その辺を考えてほしい。

4 連絡事項

(1) 地域計画推進体制検討会の開催について

- ・地域計画推進体制検討会について、7月25日月曜日に第1回目を開催する。

【21:00 終了】